

<様式>

学 校 名	山形市立明治小学校 山形市大字灰塚454 TEL 681-81473 FAX 684-6879	校 長	森谷 弘昭
		研究主任	鬼島 恵美
研 究 主 題	<b>試行錯誤しながら追究し、ともに学び合う子どもの育成(2年次) 一遊びや生活、学びのつながいを意識して一</b>		
研 究 主 題 設 定 の 理 由	<p>本校の学校教育目標は、『学びを生かして、「わたしの世界」「わたしたちの世界」を豊かに創造しようとする子ども』である。明治小の子ども達が、仲間と心を通わせながら、学びを積み重ね、学んだことを生かし、自分たちで考え、学びを、生活を、学校を創っていくことをめざしている。</p> <p>そこで、研究主題を「試行錯誤しながら追究し、ともに学び合う子どもの育成」とし、自分たちの生活や経験の中から課題を見出し、共に解決しようとしながら、更にこれからの自分たちの生活や学習への活用力を高めるような教育活動を展開していきたいと考えている。</p> <p>研究主題に掲げた「試行錯誤しながら追究し」とは、学習者中心の視点を第一に、「やってみたい」「分かってほしい」「解決してほしい」など、子ども自身に湧き上がった思いを原動力として能動的・協働的に問題解決に向かう過程で見せる子どもの姿を指している。こうした自分の思いをもとに探究を続けていく姿こそ、資質・能力を発揮しながら学びを深めている姿と捉えている。また、「ともに学び合う」とは、6年間同じ仲間と学んでいくことの強みを生かして、失敗や間違いをお互いの学びのチャンスと捉えられる温かく安心した雰囲気、力を貸したり貸してもらったりする共生的な関係の中で学びを深めていくことと捉えている。</p>		
研 究 の 目 標	<p>主体的に学ぶ子どもを育成していくために、全ての教育活動において、「試行錯誤を生み出すための工夫」「学びをつなぐための工夫」の2つの視点に沿って日々の教育活動における実践を重ねていく。そして、子どもの育ちに結びつく教師の意識の持ち方や支援の方向性を追究していく。</p>		

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">研究の重点</p>	<p>この研究主題を実現するために、今年度は以下の2点を研究の視点として実践していく。</p> <p>視点1 「試行錯誤を生み出すための工夫」</p> <p>視点2 「学びをつなぐための工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが自分ごととして捉え、解決の見通しがもてる課題づくりをする。</li> <li>・粘り強い解決に向かうための教師の出や振り返りを工夫していく。</li> <li>・カリキュラム・マネジメントを活用し、学びを生活場面や他の教科につないでいく。</li> <li>・自分と友達の考えをつなげていくための言語力を育成していく。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">研究の内容と方法</p>	<p><b>1 研究の内容および方法</b></p> <p>(1) 全ての教育活動を研究の視点で考える</p> <p>子どもが育つ学習や活動にするために、「試行錯誤を生み出すための工夫」「学びをつなぐための工夫」の2つの視点に沿って活動内容や支援の在り方などについて検討し、全教職員の共通理解を図る。</p> <p>(2) 研究の日常化を図る</p> <p>子どもを育てるには、日常の積み上げが大切である。そこで、教師自身がテーマや課題をもち、日々の授業実践や教育活動に取り組む。また、子どもたちに育てていきたい資質・能力を考え、めざす子どもの姿をイメージしていく。学級カリキュラム・マネジメントを活用しながら実践を積み重ねていく。</p> <p>(3) 授業研究会を通して、子どもの姿から学び合う</p> <p>① 事前研究会</p> <p>事前研究会①：学級カリキュラム・マネジメントと学習指導要領を持ち寄り、めざす子どもの姿、つきたい資質・能力、学びや遊びとのつながりについて話し合い、授業・単元の構想をもつ。(授業研究部の各部会で行う。)</p> <p>事前研究会②：予想される子どもの思考と指導事項、手立てについて考え、指導案を中心に検討する。(学年部で必要に応じて行う。)</p> <p>② 研究授業と事後研究会</p> <p>研究授業の中では、子どもの発表やつぶやき、表情、文章など、様々な角度から子どもの姿を見る。事後研究会では参観者が記録した子どもの姿をもとに語り合う。参観者がとらえた子どもの具体的な事実や姿から、成果や課題について考えていく。</p> <p>③ 授業研究会は一人一回行い、研究を深める。</p> <p>教科は特定せず、各教科から子どもの姿を見ることで研究を深めていく。教科を特定しないことで、様々な教科の本質について教師が学び合えるようにしていく。ただし、教科の核となる国語は、年間授業研の1つに入れていく。また、日常的に授業や子どもの姿について職員間で語り合うようにし、子ども理解や授業の質の向上等を図っていく。</p>

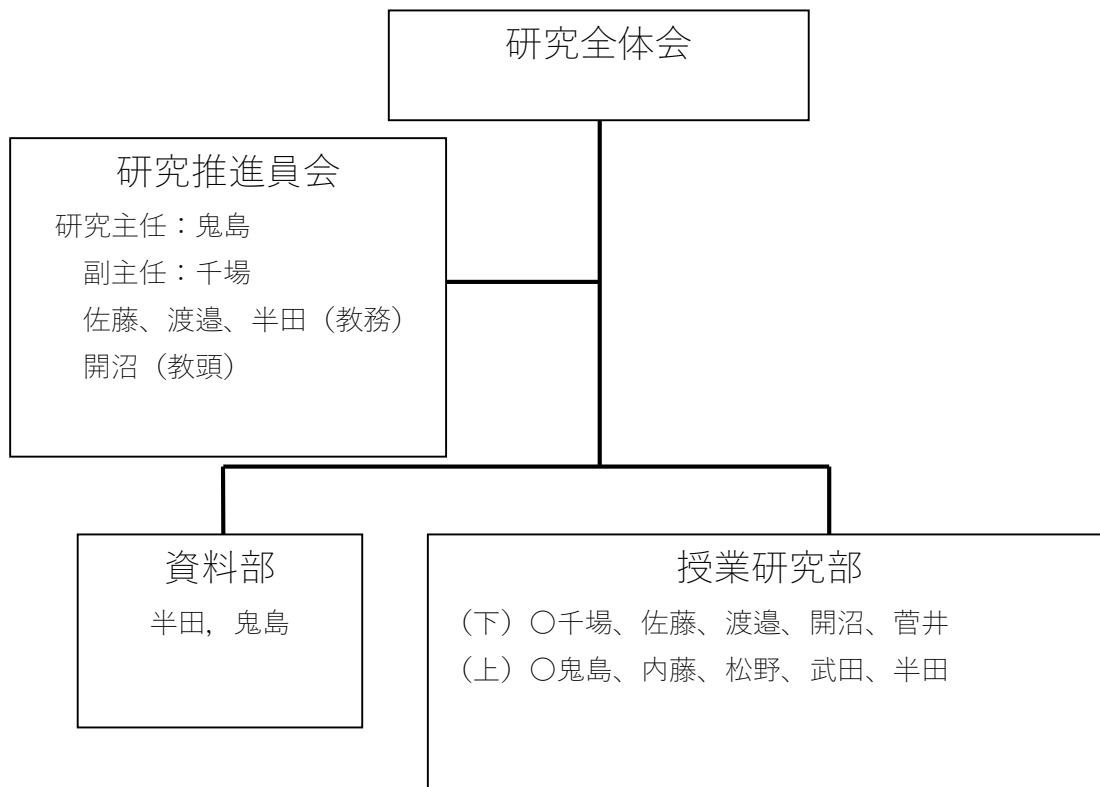
(4) 子どもの育ちに関する研修会の設定

- ①児童理解や学級経営などに役立てるために、講師を招いた研修会を開く。
- ②子どもが育つ学校行事や活動にするために、実践の中で見えてきた子どもの育ちや支援の仕方、教師の戸惑いなどを出し合い、共通理解を図るとともに互いの研修を深める。
- ③学期ごとの研究全体会では、自分のテーマや課題に沿って実践したことを紹介し合うなどして共有する。子どもの学びや育ちを振り返りながら、次のよりよい支援を考えていくようにする。

(5) 学んだことを共有し、次につなぐ研究だより

授業研究会後は、実践をふり返り、成果と課題についてまとめた「研究情報」を授業者が発行する。年度末には、自分のテーマに沿った日常の実践の成果と課題についてまとめ、研究集録「ゆう」を発行する。

2 研究の組織



### 3 研究構想図

学校教育目標

学びを生かして、「わたしの世界」「わたしたちの世界」を豊かに創造しようとする子ども

「試行錯誤しながら追究し、ともに学び合う子どもの育成」(2年次)

—遊びや生活、学びのつながりを意識して—

○めざす子ども像 ・試行錯誤しながら探究する子ども ・ともに学び合う子ども

#### 試行錯誤を生み出すための工夫

能動的・協働的に解決に向かう過程で見せる姿を、資質・能力を発揮しながら学びを深める姿と捉え、活動を構想する。学び合い、考えを深める授業になるよう、湧き上がった思いや自分の考えを言語化していけるようにしていきたい。

#### 学びをつなぐための工夫

すぐには、答えが見つからない問題もある。学びは連続している。そこで、友達と学び合って解決したり、既習事項を紐解いたり、他教科と合わせたりなど、学びをつないでいくことで、学びを深めていけるようにしたい。

#### □自分ごととなる学習課題にしていくために

- これまでの学びや、自分の生活、経験から学習課題をつくる。
- 「解決したい」「こうすればできそうだ」といった子どもの強い思いを引き出し、解決の見通し(ゴール・プロセス)がもてるようにする。

#### □粘り強く解決しようとするために

- 自分の考えをもち、追究する時間や追究方法の選択を保障する。
- 思考を言語化していくよさを実感できるような工夫をする。  
(思考や感性に関わる言葉が詰まったノートづくり、思考ツールの活用など)
- 教師の出と待ちを意識する。(どんな情報を、どこで、どのように獲得していけるようにするか。)
  - ・発問、言葉がけ、個別支援の工夫
  - ・視覚的な手立ての工夫
- かかわることのよさを実感し、安心して過ごせる学級経営を行う。
  - ・「それってどういうこと?」「わからない」「ちょっと待って」と自然と言える学級を目指す。
  - ・「みんなでやったらわかった」「友達とやったら解決できてよかった」と実感できる経験を積み重ね、価値づけていく。

#### □学びの手応えを実感するために

- ふり返りで自分の学びや知識のつながりを実感する。
- ふり返りから次の課題を見つけ、自分たちの次の学習につながっていく経験を積み重ねていく。

学級カリキュラム・マネジメント表の作成

- ・年間を通して育てたい資質・能力のイメージをもつ
- ・生活や遊びから学習へつなぐ
- ・資質・能力で、教科と教科、教科と特別活動や学校行事をつなぐ

研究の計画

		研究全体会	推進委員会	授業研究会	主な内容
4月～5月					前期学級カリキュラムの作成
4月 5日	水		①		今年度の研究の方向性の検討、指導案形式の検討、授業研究会の持ち方
4月13日	木	①			研究全体会
5月15日	月				カリキュラム・マネジメント年間計画
5月29日	月			①	授業研究会① 2年生 指導主事招聘
6月28日	水			②	七中学区4校合同研究会 授業研究会② 6年生
7月25日	木	②			研究全体会 カリキュラム・マネジメント1学期ふり返り
8月～9月					後期学級カリキュラムの作成
9月 7日	木			③	授業研究会③ 5年生 指導主事招聘
10月4日	水				市公開研究会
11月 2日	木			④	授業研究会④ 1年生 指導主事招聘
11月16日	木			⑤	授業研究会⑤ 3, 4年生 指導主事招聘
12月 7日	木	⑥			研究全体会 カリキュラム・マネジメント2学期ふり返り 研究紀要について
2月		⑦			研究全体会 研究の成果と課題、来年度の方向性について検討
3月			②		研究の成果と課題のまとめ、来年度の方向性